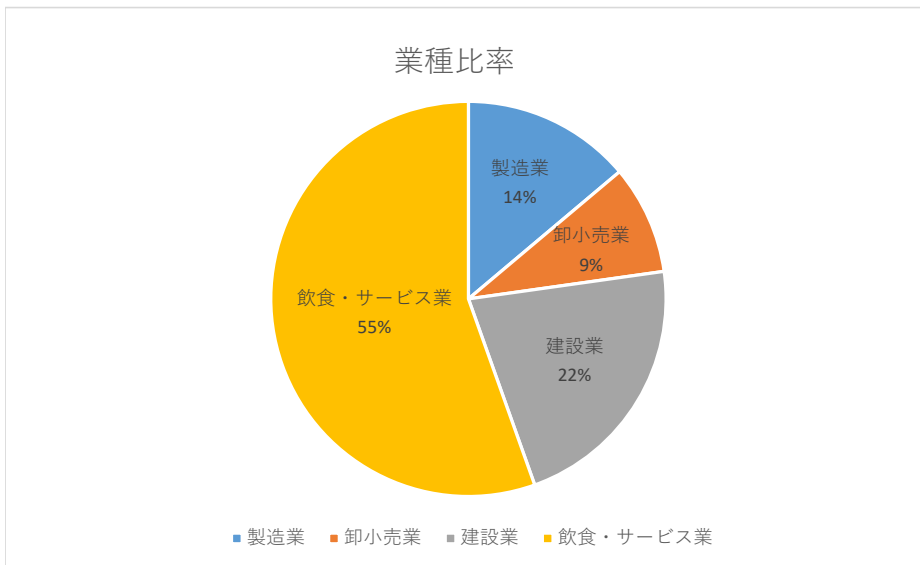


五日市商工会 令和3年度第2四半期景況調査
(2021年7月～9月)

1. 調査回答件数 101件

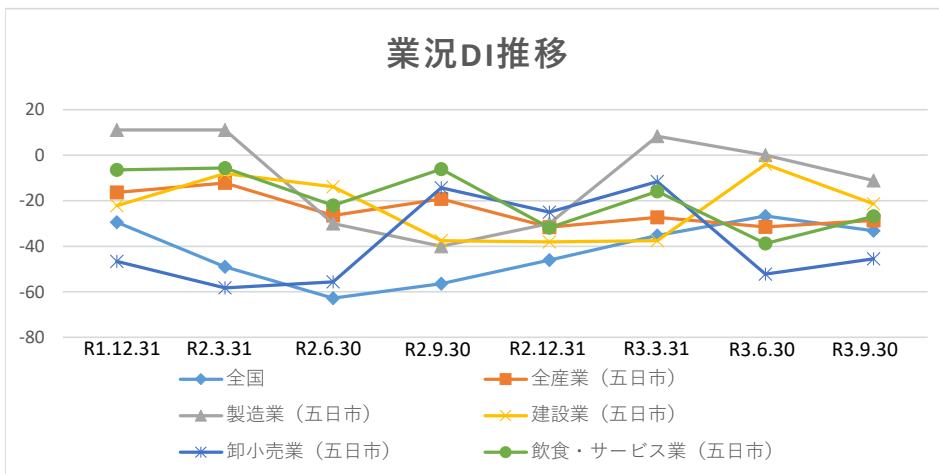


2. 業種別景況調査結果

	全国 (9月)		五日市商工会調査 7月～9月									
	全産業		全産業		製造業		卸小売業		建設業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲ 55.8	▲ 42.7	▲ 37.6	▲ 3.0	▲ 33.3	33.3	▲ 50.0	▲ 9.1	▲ 35.7	0.0	▲ 33.9	▲ 7.1
採算	▲ 51.4	▲ 43.2	▲ 34.7	▲ 1.0	▲ 22.2	11.1	▲ 45.5	▲ 13.6	▲ 35.7	▲ 21.4	▲ 32.1	7.1
仕入単価	▲ 20.5	▲ 19.1	▲ 30.7	▲ 27.7	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 31.8	▲ 31.8	▲ 71.4	▲ 64.3	▲ 19.6	▲ 14.3
雇用人員	0.9	3.9	▲ 1.0	5.0	11.1	22.2	▲ 4.5	4.5	0.0	0.0	▲ 1.8	3.6
業況	▲ 56.5	▲ 44.0	▲ 28.7	▲ 9.9	▲ 11.1	0.0	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 26.8	0.0

※全国数値は日本商工会議所LOBO調査から引用

3. 業況DI推移



4. 事業所からのコメント

	好転要因	悪化要因
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量が回復傾向 ・特需のような傾向がある ・旅行等の費用をインテリアに使う方が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で受注量が減少 ・巣ごもり需要の減少による売上減少
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・受注単価が上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドショックや半導体不足による工事遅延 ・緊急事態宣言により仕事量が減少 ・仕入価格・原材料の高騰 ・物流コストの増大
卸小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着き、徐々に来客数が増えている ・冬物商品の販売増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでの公共施設閉館・飲食観光業の休店 ・緊急事態宣言による、売上の大幅減少 ・仕入れ価格の高騰・消費の減少 ・ホテル業界の業績悪化による影響
飲食、その他のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の獲得 ・既存取引先の拡大と委託人数増加 ・先進技術への取組を進めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息しないため退会者が続出 ・コロナによる緊急事態宣言による売上減少 ・コロナにより県外の顧客との打合せが進まない ・顧客の経営悪化による取引停止 ・スタッフ不足が目立つようになってきた

5. 設備投資

		7月～9月実績	10月～12月見込み
実施した	土地	1	1
	建物	1	4
	機械設備	7	9
	車両	1	2
	OA	2	5
	IT	1	3
	その他	0	0
実施していない		88	77

6. 当面の経営課題

一位	売上、需要が増えない	24.5%
二位	材料費や仕入れ価格が上昇	14.3%
三位	従業員や人材の確保が難しい	11.2%
四位	消費者ニーズが変化してきた	8.2%
五位	人件費が増加している	5.1%

7. 総括

・景況感悪化要因について、依然として新型コロナウイルスが経営に影響していると答える事業者が多く、経営への影響は長期化している。特に、広島市では9月末まで続いた緊急事態宣言が売上減少に影響したと答える事業者が多い。

・飲食や宿泊等の事業者からは一層の売上減少の声が多く、厳しい経営状況に陥っている。

・経営上の課題はこれまでの調査と同じく、依然として「売上、需要が増えない」がトップ。「材料費や仕入れ価格が上昇」「従業員や人材の確保が難しい」が続く。半導体不足や鉄鋼等の原材料価格上昇に伴う仕入価格の上昇によるコスト増加が続き、建設業・製造業などの業種が業況の押し下げ要因になっていると考えられる。